



住みよい町づくりへ  
議会と住民をつなぐ

第**39**号

平成20年10月15日

# 河津町議会だより



見高入谷区の敬老会風景

## 主な内容

- 平成20年第3回定例会（要旨）…………… 2～3 P
- 町長の行政報告、議会人事…………… 4～5 P
- 一般質問…………… 6～8 P
- 一部事務組合議会報告…………… 9 P
- 議長の主な活動報告 他…………… 10 P

# 平成20年 第3回定例会 (要旨)

平成20年第3回定例会は9月9日から19日まで開かれました。議会は町長の行政報告について3名の一般質問が行われました。第2日目からは条例案件5件、指定管理者の指定1件、規約の変更1件、契約案件1件、20年度補正予算5件、19年度決算認定9件、発議意見書2件の各議案が審議されました。決算9議案は決算審査特別委員会に付託され、審査の結果、意見書を附帯し認定。他の議案は原案通り可決され、追加日程で議会構成も決まりました。

## 可決された補正予算、その他

### 条例の一部改正

河津町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例、河津町特別職報酬等審議会条例、河津町監査委員に関する条例、河津町立学校開放施設等使用料徴収条例、河津町観光施設の設置及び管理に関する条例それぞれの一部を改正した。

### 指定管理者の指定

七滝観光センターの指定管理者に㈱河津バガテル公園を指定。

### 規約の変更

静岡県市町総合事務組合理約の一部を変更した。

### 契約案件

平成20年度消防ポンプ自動車(第4分団)購入について、指名競争入札に付し、㈱畠山ポンプ製作所(沼津市)と17,745,000円で契約。

### 平成20年度 河津町一般会計補正予算 (第4号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ81,297千円を追加し、総額をそれぞれ4,159,719千円とする。

### 平成20年度 河津町国民健康保険特別会計 補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,276千円を追加し、総額をそれぞれ1,217,731千円とする。

### 平成20年度 河津町老人保健特別会計 補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,849千円を追加し、総額をそれぞれ137,278千円とする。

### 平成20年度 河津町国民宿舎「かわづ」 運営事業特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ115千円を追加し、総額をそれぞれ8,742千円とする。

### 平成20年度 河津町水道事業会計 補正予算(第2号)

収益的収入の予定額を6,590千円追加、支出の予定額を6,048千円追加し、総額をそれぞれ186,474千円とする。資本的支出の予定額を14,320千円追加し、総額を125,334千円とする。



## 発議による規則の一部改正と意見書の提出

河津町議会会議規則の一部を改正する規則について

議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場として、全員協議会を設ける規則の改正をする。

地域医療の崩壊をくい止め、充実を求める意見書について

関係行政庁に対し、賀茂地域住民の将来にわたり安定した医療提供ができるよう、地域医療の崩壊をくい止め、充実を求める。以上意見書を提出する。

# 決算審査特別委員会

## 決算9議案を審査、認定

平成19年度決算9議案(河津町一般会計、河津駅前広場整備事業特別会計、河津町土地取得特別会計、河津町国民健康保険特別会計、河津町老人保健特別会計、河津町介護保険特別会計、河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計、河津町水道事業会計、河津町温泉事業会計)は、決算審査特別委員会(宮

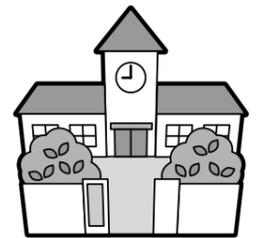
崎啓次委員長)に付託されました。

総務課、窓口税務課、保健福祉課、議会事務局、産業振興課、建設課、教育委員会に関する事務及び農業委員会に関する事務をそれぞれ決算審査にあたりました。

決算審査特別委員会は意見書を附帯して認定すべきものと決定しました。本会議上、宮崎啓次決算審査特別委員会委員長の報告を受け、全員賛成で認定されました。

## 平成19年度 決算審査特別委員会附帯意見書

1. 公共用地の処分・利用・債権処理等を早急に進められたい。
2. 町税等の滞納者の徴収を徹底すると共に時効停止の措置をされたい。
3. 温泉会館、花卉園等観光施設の管理運営を徹底して、経営の改善を図られたい。
4. 野猿をはじめ鳥獣害の甚大な被害が見られるので、抜本的な対策を図られたい。
5. 学校施設の老朽化が見られるので、年次計画を立て早期に改修を図られたい。
6. 温泉事業加入促進のため、平成28年度以降の受益者負担を早期に明確にされたい。



## 第3回臨時会

7月3日に開かれた第3回臨時会は以下の議案を可決しました。

### ◇議案58号

平成20年度峰温泉大噴湯公園整備工事請負契約について  
東海建設㈱と90,090千円で契約。

### ◇議案59号

平成20年度河津町一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ965千円を追加し、総額を4,078,422千円とする。

# 第3回定例会 町長の行政報告



## ●平成19年度決算について

普通会計では歳入38億8,017万4千円、歳出36億5,262万3千円となり、歳入面で町民税の増、固定資産税はほぼ前年度並み、地方交付税の減少、これらの減少分は、町有財産売却、基金の繰入金で補う決算となる。歳出面では、峰温泉大噴湯周辺土地購入や、後期高齢者医療制度導入に伴う費用などによる増、見高入谷高原温泉整備事業、観光施設整備の事業量の減少による減となった。

## ●南伊豆地区1市3町合併協議について

1市3町の合併協議会は6月25日に第1回協議会が開催され、以後毎月1回開催されており、協定項目26項目について調整が済んだ項目より、協議承認される。また、各小委員会が設置され、新市の各称などの検討を進めている。各種事務事業のすり合わせ作業を平成22年3月の合併に向けて協議中。

## ●津波避難訓練及び総合防災訓練について

7月8日地域住民の協力を得て、津波訓練を実施し、海水浴客など51名が参加。また役場庁舎、文化の家では、地震訓練に

91名が参加した。8月29日、9月1日には、東海地震を想定した「総合防災訓練」を実施した。西小学校グラウンドでは、上地区の自主防や、中学生、高校生約400名が参加し、協同訓練を実施した。

## ●敬老会行事について

本年も各地区で開催してもらう事にした。1地区に30,000円と、70歳以上の参加者に、1人当り3,000円を助成。

## ●森林整備事業について

地球温暖化防止対策として、森林の有効活用が期待され、二酸化炭素の削減効果も大きい。今回鉢の山へ、県グリーンバンクの100%補助により、もみじ等800本を2haに植栽を計画した。

## ●地域活性化事業について

伊豆見高入谷高原温泉宿泊棟施設、設計監理業務事業は、7月24日入札、一級建築士事務所野田建築設計事務所が落札し、189万円で契約した。上佐ヶ野の中山間組合は河津ブルーベリーの里を、7月27日から8月20日まで営業し、2,246人の来園者があった。

## ●夏の観光状況について

海水浴場の入り込みは、今井浜で60,790人前年比104%、河津浜で6,513人前年比106.3%となり、全体で前年比104.2%増加。バガテル公園では、夏の納涼市などの夏のイベントや夏のキャンペーンを積極的に実施し入込み客の増加に努めた。

## ●河津バガテル公園関係について

8月末の入園者の累計は、57,697人で前年比72.7%、春バラの入園者数の減少が響いてい

る。こうした中で緊急措置として、レストランの休止、送迎バスを自主運行に変え経費節減を図る。

国民宿舎の利用状況は、7月の宿泊数が816人、8月が1,468人。4月から8月末までの累計で3,979人で前年比99.6%と減少。また(株)七滝観光センターの運営についても、4月から営業を開始した。

## ●観光施設整備事業について

河津川渓流歩道整備事業、トイレ棟整備工事は、6月20日入札を実施、東海建設(株)が落札1,060万5千円で契約した。

峰温泉大噴湯公園整備事業は、6月30日に、東海建設(株)が落札。9,009万円で契約し、年内完成に向け進める。

## ●農業関係事業について

県単治山事業は、7月24日2件の入札をし、浜地内の片瀬山治山工事は、防護柵工延長50mを1,701万円、縄地地区の大山治山工事は、第一工区水路工延長25m、第二工区水路工延長10.5mを399万円で、東海建設(株)がそれぞれ落札、契約した。また、県営事業の農免農道見高稲取4期地区は、今年度8,400万円の事業費で200mを施工予定。

## ●道路新設改良事業について

川横地区の町道奥原1号線は、平成21年度、本工事に着手し、年度内に完成予定。

長野地区の町道見高泉水仲ヶ野線は、緊急車両等の通行できる様拡幅工を実施する。

梨本地区の町道萩ノ入2号線は、初景橋から、前の川橋の急カーブの改良工事の測量調査、

設計業務の発注。

## ●木造住宅耐震補強助成事業について

東海地震の発生による、大被害の予想で、古い木造住宅に対し、無料の耐震診断や、補強工事費の助成50万円を限度額とし、補助するものです。

## ●災害復旧事業について

6月22日と6月29日の集中豪雨と高波による被害は、漁港施設2漁港。農林業施設、林道1箇所、用水路1箇所。道路施設、4地区4箇所。河川施設3箇所。県事業では、河津川の田中地内の護岸災害復旧事業、104mで事業費4,000万円で災害査定を受けた。

## ●水道事業について

7月31日付けで水道事業経営の変更認可を受け、町内3簡易水道事業が廃止され町上水道事業から給水を開始した。

新規加入58戸と、申請手数料の増収見込みである。また、施設の老朽化の修繕費等の補正予算の計上や、未給水地域の解消の整備を図るため、峰高原水道管拡張工事672mを(有)寺林工務店が落札し、1,611万7,500円で契約した。

## ●学校運動場の夜間照明使用料の改定について

中学校グラウンド照明を、1基増設した。西小学校は、4基のうち2基を老朽化のため取外す事とした。

## ●学校給食センター整備事業について

文部科学省や厚生労働省の管理マニュアルに基づき、床に水を流さないドライシステム。安心、安全な調理環境を備えた施設を導入した。



## 新議会構成が決まりました



議長  
相馬 宏行



副議長  
萩原 清男



第一委員長  
白井市太郎



第二委員長  
稲葉 静

### ◆ 常任委員会構成 ◆

#### ■ 第一常任委員会

- 委員長  
白井市太郎
- 副委員長  
吉田重好
- 委員  
山田 勇  
相馬 宏行  
中村 聡  
飯田 正臣

#### ■ 第二常任委員会

- 委員長  
稲葉 静
- 副委員長  
宮崎 啓次
- 委員  
萩原 清男  
土屋 柔太郎  
山本 和之

### ◆ 議会運営委員会 ◆

- 委員長  
白井市太郎
- 副委員長  
飯田 正臣
- 委員  
稲葉 静  
吉田 重好  
宮崎 啓次

### ◆ 一部事務組合 ◆

- 東賀環境センター  
吉田 重好  
山田 勇  
飯田 正臣
- 伊豆斎場組合  
萩原 清男  
山本 和之
- 下田地区消防組合  
稲葉 静  
宮崎 啓次  
中村 聡
- 共立湊病院組合  
山本 和之  
白井市太郎

## 一般質問

## 仮称「来の宮大橋」の計画と、調査費の投資額は！ 町長－新市合併後に検討、3,500万円投資

質問…道路行政について

1. 役場隣りの新設道路の供用開始時期は。

2. 役場笹原方面への道路整備計画と笹原峰方面への来の宮大橋の計画とその調査費用は。

3. 鍛冶屋沢道路峰地内交差点の拡巾は。

町長…質問1は平成23年度予定、質問2は延長700mで地権者の協力で。

来の宮大橋は町で都市計画決定してあり、県道の町道移管時に実施か。質問3は交差点に信号機を設置し事業終了する。

質問…鍛冶屋道は現交差点の拡

巾計画は。

町長…県代行工事は信号機を付け終了した。拡巾工事は町単独では財源的に無理では。

質問…来の宮大橋箇所は都市計画決定はされていた訳で当初より無理な計画、判断が甘かったのでは。3,500万投資しているので道路計画は順次年度計画を立て着実に進めるべきでは。

町長…道路は地権者の同意なくしてできません。鍛冶屋沢道路私は何回も交渉に出向いたが引き続き要望したい。他の道路についても地権者の同意を進めたい。

を受けるための計画している市町もあるとのこと。当町は他町のPRを参考に9月にホームページを立上げ募集をかけたい。

質問…河津から他出している人が多くその方達にふる里を愛する気持ちを知ってもらい町が温かく受け入れ町を育てていただく気運を高める事だ。町の広報や各会議に制度のPRなど必要では。総務課長…ふる里通信や、広報かわづの利用は当然で観光PR時に制度の魅力を知っていただけよう方法を検討したい。

質問…この寄附は目的をもった基金を設立したらどうか。又、町外者からの問合せや手続はどうなる。

## ふる里納税制度への 取り組みは

### 総務課長－ホームページを立 ち上げ、多くの方の寄附を！

質問…ふる里納税制度とは  
総務課長…地方税法の改正により寄附者の意志でふる里や各自自治体へ財政支援するための寄附金。

質問…この制度の活用を町はどのように考えているのか、関係町民、町外の出身者に対しては。

総務課長…県下の市町でホームページでPRしている市町があり現在16市町で寄附を受け、どうするかは特典をもうけたり、寄附



伊豆大島近海地震での自衛隊・県警救助活動(S.53.見高入谷)



### 土屋 桑太郎 議員

総務課長…問合せはないが、手続は寄附者に説明したい。現在ある基金と、どうするか検討したい。

### 災害支援協定の マニュアルづくりを！

#### 総務課長－前向きな検討を。

質問…東海地震は震度6と想定されているが支援協定先と協議内容は。

総務課長…白馬村、渋谷区です。他に東部市町管内と、富士、箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議構成の市町村。神奈川と山梨県の一部市町村であります。支援内容は、応援物資、資機材の提供、職員派遣以外に要請のあった事案です。協議は白馬村とは防災計画の資料交換で打合せはない。渋谷区は毎年点検確認。東部市町は主要事業課題など協議している。伊豆交流圏市町村ネットワーク会議は防災部会による年1、2回協議している。質問…資機材他の提供でなく住宅確保などは、災害協定者は遠く資機材の搬入が無理では又近隣町村も同時災害だと他町村どころではなくなるのでは。渋谷区なども相互応援厳しいのでは、細部の打合せが必要では、食事や泊りなど長期滞在型の受け入れる考えは。

総務課長…要請のあったものに限定されるが、今後話し合いの中で確認したい。

## 河津バガテル公園の決算状況は？

### 町長－19年度約4,000万円 約6,000万円超の累積赤字。

質問1…河津バガテル公園の管理運営について4点伺う。入園者は18年度並みに推移しているが飲食部門の損失等で大変厳しい経営状況と見受けるが19年度の決算状況と今後の運営計画は。

質問2…岸副町長が取締役として選任され主に経営に携わっているが経営改善の為に支配人を選任する考えはないか？

質問3…バラ園の庭園管理の支援を保証する目的でパリ市と結んでいるバラ園内園芸管理支援協定を見直す考えは。またその関連予算としてのパリ市技術指導者受入調整業務委託料の見直しの考えは。

質問4…風土の森をしっかりと管理し、バガテル公園と連携した森として展開する必要があると考えるが対応は？

町長…決算状況は厳しいが、20年度は経費の節減等で強い信念のもと黒字をめざす。運営計画

については公園ゲートの問題等があるが、パリ市とよく検討しながらすすめる。

支配人については、関連企業と相談しながらすすめたい。

公園の整備契約また連絡調整については、信頼関係を保つ上には必要。

風土の森については、きちっと予算関係をつくり充実させ、バガテルと相乗効果が上がる体制でやるべきと考えている。

質問…6月に取締役として選任され経営に携わっている立場として、今後のバガテル公園のあり方、また副町長としての職務について考えを伺う。

副町長…2つの立場はあるが重きは副町長という立場で取り組んでいる。社員を中心とした会社づくりをめざし社員の提案等を受け、実務者会議、取締役会等で充分論議した上で今後の計画をつくっていく。

## 観光交流館指定管理者の目安は？

### 町長－観光協会にと…検討中!!

質問…温泉会館の入館者は2つの施設で109,675名と対前年比445名増となっているが収支状況は施設の老朽化や原油高騰による需要額の増で、サンシップ今井浜は約1,700万円の赤字収支と経営状況は厳しい。今後の対策は。

町長…両施設で700万円の赤字だが雇用の場の確保、温泉、水道使用料、地域の活性化を考えれば心配する問題でないとする。合併を控えた中で福祉の事を考えれば料金を下げること考えられる。

質問…観光交流館について前定例会でも質問したが管理運営計画について検討委員会できかに検討されたか。

産業振興課長…施設の位置、規模、内容、管理、名称等7項目にわたり検討はしている。近々答申する予定。管理については観光協会にお願する方向で検討中。



### 相馬 宏行 議員

### 合併に向けて 基金運用の考えは？

### 町長－地域自治組織で 提案する。

質問1…新市基本計画案、新市のまちづくり方針が報告されたが、その構想が国県の支援策として確実に取り上げられるのか。共立湊病院の建設問題について具体的な合併支援として報告し協議会の内容に加えるべきでは。

質問2…1市3町の基金の額について違いがあるが運用についての考えは。  
町長…病院問題、救急医療の点については何としても近くに立上げる様、全力をあげていく。場所と方向性が決まり次第県に調査費をお願する。地域自治組織の問題が11月頃協議会に出されたとき、各市町の財政状況に応じた基金の運用を提案して行く。また毎年要望される各区の事業についても予算確保できる様条件として提案する。



風土の森(売店)

## 休日夜間の一次救急患者対策について

### 町長—各市町で持ち帰って検討中

質問…基幹病院としての共立湊病院を含めた整備について、早急に新病院の運営方式を含めた計画を立てるべきと考える。総務省からは経営形態の見直し①指定管理者制度②独立行政法人化③民間への事業譲渡、の考えなど公立病院を抱える自治体は今年中に地域医療の改革プランを作成、総務省に提出しなければならない、となっている。移転かどうかは第三者機関である検討委員会にゆだねられた。運営方式を含めた病院整備に関する考えは。

今後町内にある診療所の先生方も高齢化になり、休日夜間の特に一次救急の患者の対応について支障をきたす恐れがある。私が昨年12月定例会で質問した一次救急の患者を受け入れ、

そこで二次救急への振り分けも行う休日夜間急患医療センター新設の必要性について、賀茂医師会からも夜間救急センターが提案された。二次救急患者を診療する共立湊病院の勤務医の負担を軽減するのが主な目的としている。センター設置の考えは。

稲取の伊豆東部総合病院が下田に土地を確保し進出する問題について、共立湊病院の整備と関連して下田に医療機関が集中し地域医療のバランスが崩れる恐れもあると思われるが、対策をどう考えるか。

町長…病院建設は首長サイドで一部事務組合で立ち上げると決定。夜間救急センターは各町に持ち帰って検討する。東部総合病院は東伊豆町と連絡をとりながら要望していく。

家前の交差点を通り、サークルK付近までの幅16メートルの通称「中央道」を早期に役場前まで、「田中・笹原バイパス」として開通させる必要があると考える。計画路線は買取方式により土地取得するしかないと思うが、この「田中・笹原バイパス」の今後の計画、考え方を伺う。

二点目に見高入谷の農免農道について、確定している施工計画と開通の予定を伺う。また、この農道は防災的なバイパス道路の価値があると思う、稲取から白田、奈良本と防災迂回道路がつながっており、現在の田中から見高入谷への道路の拡幅あるいは新設により、さらなる防災的バイパス効果が上がるよう、計画に取り組むべきと考えるが、

町長…役場から来宮さん横、



宮崎 啓次 議員

笹原へと700mだが、あと3年位で用地を取得することで、早急に県にお願いする。農免農道は21年度に完成させるべく進める。田中への道路は約2,200m弱、測量調査は終わっている。今後ふるさと農道方式で積極的に進める。さらに田中から松崎へ横断道としても県に要望中である。県も前向きである。

### デマンド交通の進捗状況は

#### 町長—21年4月は無理

質問…お年寄り達が病院や金融機関、買い物に出掛けるのには、自分でバス停までいける人はバス回数券を利用している。回数券の利用状況は。

昨年12月の定例会では町長より、21年4月には朝夕の通勤通学の時間帯を除いて、デマンド交通システムを実施したいとの答弁を頂いた。私は地元のバス会社に協力をいただき実施できれば、年配の方達や交通弱者にとって朗報になると考えていた。その後の進捗状況はどうなっているか難しい問題はないか。総務課長…回数券利用は19年度実績で月平均337件、計4,038件、前年比103.2%の伸び。

町長…東海の修善寺路線があるので、東海自動車の協力がないと出来ない。4月は無理だが、今後さらに検討していく。

### 笹原から田中への中央道の計画は

#### 町長—3年位の間に用地取得したい

質問…今後田中バイパスが役場前に接続され、主要道路に位置づけられる事が判っている。逆川から鍛冶屋沢線を通る車と、この田中バイパスを通る車が役場前に集中するのではないかと危惧する。この対策として、河津駅前から笹原文化の



笹原から役場方向へ(中央道)

## 一部事務組合議会の定例会報告

### 下田地区消防組合議会

8月26日定例会が開催され20年2月1日から7月31日までの事業報告がされた。火災発生件数は15件で被害総額8,318,000円で、下田市8件、南伊豆町4件、河津町3件。救助件数は16件で下田市8件、南伊豆町4件、河津町4件。救急出動は、1,266件で1,210人を搬送。本署758件、南伊豆分署280件、河津分署228件。ドクターヘリ80件の要請、78人を管外搬送。下田市34回、南伊豆町31回、河津町8回、その他の救急使用5回。予防業務は下田市124件、南伊豆町48件、河津町40件の宿泊施設の立入り検査を実施。議案は、専決処分承認。平成19年度決算認定、歳入701,104,149円、歳出695,253,262円。その他補正予算1件、条例改正1件を可決。その他、消防組織法に基づく消防組織の広域化は、平成24年度末広域化の実現の予定。

### 伊豆斎場組合議会

8月25日、伊豆斎場組合の8月定例会が開かれた。管理者の石井直樹下田市長の行政報告が行われ、19年度より4ヶ年計画で行われている火葬炉耐火レンガ等の積替工事の説明、斎場使用

状況等の報告がなされた。

議案として平成19年度伊豆斎場組合会計決算を審議、歳入決算額39,661,740円、歳出決算額37,848,002円で1,813,738円が翌年度繰越を認定した。収入の主たるものは、1市3町の負担金が26,866,000円、使用料が管内分4,050,000円、管外分2,810,000円で計6,860,000円である。使用料は減少している。

又、専決処分第1号、平成20年度補正予算第2号、県市町村総合事務組合規約変更の議案を可決した。

### 共立湊病院組合議会

8月25日共立湊病院組合議会が開催され、山田直志議員、横島隆二議員の一般質問、共立湊病院改革推進委員会設置要綱の制定についての報告後、専決処分の承認。管理者より、19年度の入院患者数は42,752人で対前年比1,858人の減であることが報告された。

平成19年度の事業決算は、収益的収益は2,230,691,348円であり、総費用は2,291,280,610円であり認定された。資本的収入及び支出は、資本的収入に36,106千円、資本的支出に84,460千円となった。資本的収支の不足額48,354千円は当年度消費税資本

的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金で補てんした。その他補正予算1件、条例改正1件、平成19年度介護保険施設事業特別会計決算は認定された。

### 東河環境センター議会

10月6日東河環境センター議会、第2回定例会が開かれた。平成19年度決算認定など4議案について審議し、いずれも可決、認定した。19年度決算では歳入が6億1,353万5,346円、歳出5億8,809万5,662円、差引残額2,543万9,684円、20年度補正予算では歳入歳出それぞれに331万9,000円を追加し、予算総額を6億6,469万8,000円とする。これは燃料高騰による原因が主なもの。

そのほかの議案では、東河環境センター特別職および議会議員の報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について、静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の減少および規約変更について、が審議され可決された。

平成19年度のゴミ処理の実績は総量で14,215t(河津町4,367t、30.72%、東伊豆町9,848t、69.28%)であった。し尿処理については、総量で11,849kl、(河津町4,865kl、41.06%、東伊豆町6,984kl、58.94%)であった。

### 伊豆斎場組合加盟市町別受理件数表

	管内		管外			
	大人	小人	大人	小人		
下田市	358	1,790,000	4	16,000	26	1,300,000
東伊豆町	154	770,000	3	12,000	22	1,100,000
河津町	109	545,000	2	8,000	1	50,000
南伊豆町	171	855,000	4	16,000	7	350,000
計	792	3,960,000	13	52,000	56	2,800,000





中村 聡 議長

**議長の諸般の報告と  
議会の動き**

- 6月18日 学校給食センター安全祈願祭、第2委員長と共に出席(峰)
- 6月19日 郡議長会(下田市)
- 6月25日 南伊豆地区1市3町合併協議会、飯田正臣議員と共に出席(河津町)
- 7月3日 河津町議会第3回臨時会、同日全員協議会
- 7月4日 河津町夏季対策協議会
- 7月5日 議会広報委員会
- 7月11日 夏の交通安全県民運動街頭広報に参加
- 7月15日 南伊豆地区1市3町合併協議会小委員会(下田市)
- 7月17日 今井浜海水浴場海開き、議員と共に出席
- 7月22日 河津町合併推進協議会、飯田正臣議員と共に出席
- 7月24日 静岡州市町議会議員研修会(静岡市)
- 7月26日 河津ブルーベリーの里オープン式典、同日、長隆氏を招き役場会議室で共立湊病院の勉強会
- 7月29日 郡議長会(下田市)
- 7月30日 南伊豆地区1市3町合併協議会、飯田正

臣議員と共に出席  
(松崎町)

- 8月8日 静岡県町村議長会、議長・副議長事務局長研修会(静岡市)
- 8月11日 河津町合併推進協議会、飯田正臣議員と共に出席
- 8月18日 国道414号期成同盟会要望活動で国交省中部整備局に要望、同

日伊豆縦貫道期成同盟会要望活動で沼津河川国道事務局に副議長が要望

- 8月20日 南伊豆地区1市3町合併協議会小委員会(下田市)
- 9月1日 政局講演会(静岡市)
- 9月4日 議会運営委員会
- 9月5日 河津町合併推進協議会、飯田正臣議員と共に出席
- 9月8日 南伊豆地区1市3町合併推進協議会、飯田正臣議員と共に出席(下田市)

**議会一口メモ**

**一般質問**

一般質問とは、議員が行政全般にわたり、執行機関である町当局に対して、その執行状況や、町の将来の方針について質問し、説明或いは報告を求めることを言います。

これに対して、特定の議員が政党又は会派を代表して行う質問を代表質問と言います。

一般質問は年4回の定例会に限り許されるもので、臨時会では一般質問は出来ません。

一般質問をする場合は、一定期間内に文書で議長に通告し、発言は議長の許可を得てから発言します。

河津町議会の場合、1人の議員の許される一般質問の時間は、60分、1つの質問に対しては、3回までの質問が出来る事となっています。

**議会広報編集委員の紹介**

議会だよりは私たち5名で編集しています。

「私も一言」の欄へのご投稿をお待ちしています。

- 広報編集委員長  
山田 勇
- 広報編集副委員長  
宮崎 啓次
- 委員  
萩原 清男  
稲葉 静  
吉田 重好



**編集後記**

9月の定例会の後、議会人事についても刷新されました。広報委員については全員が留任(再選)という事があります。

地球の裏側で起こった事も瞬時に報道される今の世の中ですが、身近で起こる事は何日も知らないままと言うのがまあります。

町民の皆様にもっと見てもらえる、読んでもらえる、関心を持ってもらえる議会だよりを目指して頑張ります。(山田)